

**平成30（2018）年度
研究、教育、社会・学会活動報告書**

1. 研究（本年度のみ）

教員氏名	加藤 悟	職 位	教授	学 位	博士（学術）
	専門分野	サステナビリティ学			
研究課題	テーマ	持続可能性社会実現への課題解決			
	概要	持続可能性社会を実現するために、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会、安全安心社会の実現が求められている。実現に必要な課題を明らかにし、解決のための実践的な研究を行う。			
本年度 研究業績	研究費	総額：200,000 円 内訳：個人研究費 200,000 円 / 科学研究費 0 円 そ の 他 0 円			
	研究テーマ	SDGs を活用した持続可能性社会実現のための教育方法			
	経過と到達点	低炭素社会実現のための自然エネルギー導入の社会経済性評価を行った。自然エネルギー導入価格はかなり低下したものの、導入量の増加は逡減している。海洋廃棄プラスチック問題や中国の廃プラスチック輸入停止などによって、世界でプラスチック問題が注目される中、自国内処理能力の向上がどこまで進むかの推計のための情報収集を行った。また、企業に対する SDGs の普及促進などに取り組んだ。			

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文	なし				
②和文査読論文	なし				
③英文論文	なし				
④和文論文	なし				
⑤紀要論文	なし				

⑥紀要研究 ノート等	横断的連携が生み出す“循環行政”に向けて（第3～6回） サーキュラーエコノミーの着地点①～④	2018/06 2018/07 2018/08 2018/09	単著	月刊廃棄物	中国の廃プラスチック輸入停止の現状と影響について世界各国の動向を定量的に解説。また企業主導の循環型社会実現の取組について紹介。世界のマイクロプラスチック対策ブームを冷静に評価。
⑦学会での 口頭発表、 討論者（デ ィスカッサ ント）	『SDGs 変える組織の環境マネジメント』（予定）	2019/03	単著	京都経済短期大学 経営・情報学会	環境マネジメントシステム ISO14001 が果たしてきた役割が SDGs により大きく転換する。温暖化防止のためのパリ協定の影響についても考察。

(2) 著書

	著書名	発行年 月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著 書・共訳書	なし			
⑨単著 書・単訳書	なし			

(3) 外部研究資金獲得（競争的資金獲得）

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年 月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研 究（研究代 表）	なし			
⑪単独研 究	なし			
⑫共同研 究 (分担研 究)	なし			

2. 教 育（本年度のみ）

担当科目	前 期		後 期	
	科目名		科目名	

	講義	経営講読Ⅱ、基礎ゼミナール、ゼミナールⅡ、高短連携講義	経営情報学科特講、環境学入門、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅢ、高短連携講義
	演習	プロジェクト演習	プロジェクト演習
	実習	なし	なし
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目	経営講読：学生主体の輪講と発表 高短連携講義：高校生生徒同士のグループワークによるアクティブラーニング 環境学入門：講義資料をあえて配付せず、可能な限り文字を使用しないプレゼン資料を活用して授業を行うことで、自律的にノートを取る訓練と、他人に説明できる能力の育成を目指した。	
	◆ 演習科目	プロジェクト演習：地域の担当者と信頼関係を構築するための、自律的な能力を育成。	
	◆ 実習科目	なし	
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）	なし	

(1) 課外活動

①研修旅行 国内	なし
②研修旅行 国外	なし

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長	なし
②委員・アドバイザー	洛西ニュータウンアクションプログラム推進会議委員

（2）講演会

分 類	活動・講演の概要
③講演者・登壇者	<p>2018年6月26日開催 おおさかATC グリーンエコプラザビジネス交流会主催 特別セミナー①『日本の2050年エコ戦略』</p> <p>2019年2月1日開催 中小機構主催 SDGsセミナー in 岡山 ～初めてのSDGs～ 『SDGsとは？ 中小企業の成長に活かす』</p> <p>2019年2月3日開催 大阪市環境局主催 市民環境大学2018第5回『よく伝える人 になるために』</p>

4. 特記事項（本年度のみ）

なし
